

(様式第4号)

塩田地域協議会 会議概要

1	審議会名	第9回 塩田地域協議会
2	日時	平成21年12月21日 午後1時30分から午後4時40分まで
3	会場	上田市塩田公民館2階ホール
4	出席者	大口会長、峯村副会長、上沢委員、池田委員、岡村委員、小山委員、佐藤委員、関田委員、武田委員、勅使川原委員、中村委員、平林委員、丸山委員、水無瀬委員、南委員、宮入委員、山極委員、若林(恭)委員
5	市側出席者	大澤政策企画局長、伊藤交流・文化施設建設準備室長、田口子育て・子育て支援課長、松井課長補佐、中澤主事、小野塚教育総務課長、神林塩田地域自治センター長、古川センター長補佐
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成22年1月15日

協議事項等

1 開 会 (神林自治センター長)

2 あいさつ (大口会長)

年の瀬を迎え寒くなってきたが、活気ある協議会として多くの意見をいただき、地域の活性化に結び付けたい。別所線電車存続に向けたアンケート調査について、十分な協議をお願いしたい。交流・文化施設計画の説明もあるので、市の将来に向けての利活用について理解してほしい。

大澤政策企画局長あいさつ

12月14日に議会が閉会して、約3億8,200万円の補正予算が成立して、年度末まで約100人を採用するなど雇用に力を入れているが、先が見えない状況である。

地域協議会からの意見書について、予算化や事業化について検討しているところである。

産院の整備については、医師一人を招聘することができ22年整備基本計画、23年には広域連合が所有する約2,200㎡の土地に建設することとなる。今後の市政運営に協力をお願いしたい。

3 報告

(1) 上田市未来っ子かがやきプラン骨子案に対する意見募集について(田口子育て・子育て支援課長) 上田市未来っ子かがやきプラン骨子案に対する意見募集について説明

(質疑応答)

(委員) 子育てについて、大きな角度から捉えることは重要であるが、行政の担当部署との整合性はどうか。

(事務局) 市役所では、30課所が関係しており関係課所とは連絡調整を行っている。

(委員) 少子化社会であり、子育てには経済的な問題もあると思う。母親が家庭で子育て出来ればよいが、教育に金がかかる時代での両立についての考え方はどうか。

(事務局) 子育てに関する問題は、経済的理由や自己実現理由など色々あると思うが行政として、地域としてできる支援について考えていきたい。そのための住民意見を聞きたい。

(委員) 少子化の原因をどのように考えているのか。

(事務局) 色々あると思うが結婚の問題、経済の問題、働き方との両立の問題などがあると思う。

(委員) 少子化は、結婚しない人が多いことと、子どものできない家庭も多いと聞いているが、合計特殊出生率との関係はどうか。

(事務局) 今日では、結婚支援活動が進んできている。行政としては、見守りやPRなどと考えている。不妊治療には、支援制度があり活用してもらいたい。合計特殊出生率は、15歳から49歳までの一人の女性が生涯に産む子どもの数である。

(委員) 住民意見として、具体的にどのように意見すればよいものか。(データがないので)

(事務局) 詳しいデータは提示していないので、抽象的な表現でも構わない。

(委員) 支援事業の内容が分からないと意見のしようがない。事業の現状が理解させないのので、説明資料が必要である。資料の提供をお願いします。

(2) 交流・文化施設等整備計画について(伊藤交流・文化施設建設準備室長)

上田市交流・文化施設等整備計画について説明

(質疑応答)

(委員) 収支において、約2億3,400万円の赤字対応はどのようにするのか。

(事務局) 市が一番心配するところであり、市の財政力について今は申し上げられないが、1月の住民説明会において全体シミュレーションを明示することとしている。3年間の計画と10年間のグランドデザインも示したい。学校の耐震化は、平成27年を目標(約100億円)としている。実質公債比率25%を含めすべての数値を提示したいと思っている。

(委員) 説明時には、財政収支についても説明したほうが良い。

(事務局) 市の文化予算は、全体の約1%であり、市の将来構想や魅力を作ることを住民に提示したい。

(委員) 計画は素晴らしいが、収支や財政面が不明では危惧するところである。将来計画のシミュレーションを提示して欲しい。大ホール1,700席の事例や経費、利用頻度などどのようになっているのか。

(事務局) 類似施設と比較検討してきたが、今後精査が必要である。実施までには段階的に協議会に提示して意見を聞きたいと思っている。

類似施設大ホール1,700席については、松本市民芸術館1,800席、長野市民会館1,760席、県民文化会館ホール2,200席、県松本文化会館1,800席、県伊那文化会館500席など長野や松本に匹敵する施設を検討している。委員会でも意見が分かれたところである。上田地域の音楽文化は進んでおり、市街の施設を使用している場合が多く市内への施設希望が多い。貸館の場合は、1,600席以上必要との専門家の意見である。観光として誘客するにしても1,700席程度は必要であり、今後慎重に検討して行きたい。

4 協議

(1) 塩田中学校改築事業について(教育総務課)

上田市立塩田中学校改築事業概要について説明

(質疑応答)

(委員) 校庭の排水について配慮いただきたい。

(事務局) 状況は承知しているので、水路も含めて検討して行きたい。

(2) 別所線電車存続に関する住民アンケート調査について(塩田地域自治センター)

別所線電車存続に関する住民アンケート調査について説明

(質疑応答)

(委員) 全体的に分かりにくい問いとなっている。負担金問題に触れていないので、負担金の是非について聞くべきである。

(委員) 中学生以上を対象とすべきではないか。1世帯1枚とは限らないのではないか。負担金については、協議会として議論すべきであり、今回の実態調査は塩田の様子があればいいと思う。

(委員) 世帯数が、約7,600程度あり対象や調査項目について悩んだ。

(委員) 回答しやすくするため、回答はできるだけ選択式としたい。

(会長) 対象を世帯単位とすることも良いが、乗らない人や残さなくてもよい人が多くなるのが心配である。

(委員) 残すことを願っているが、「なくなったらどうしますか」などのように残して欲しいとする答えが出るようなものとしたい。

(委員) 他地区の住民が、別所線電車存続に行政支援をすることに、理解してもらえるようなアンケート内容が良い。

(委員) アンケートの表題は、「別所線について」の方がよい。

(委員) 今は利用しない人も将来利用することもあるので、将来に対する考え方も聞きたい。

(委員) 駅などで実際に電車を利用している方へのアンケートも必要である。

(会長) 次回は、実際に利用されている方を対象としたい。

(審議結果)

今回のアンケート調査は、塩田地域のみを対象とする。調査項目については、再度検討する。

(3) 塩田地域の観光について

時間の都合上次回に予定する。(会長)

(4) その他

地域協議会だよりの発行について(委員報告)

内容について承認

5 その他

連絡事項

1月21日(木)	わがまち魅力アップ応援事業実績発表会	13:30	塩田公民館ホール
	地域協議会	15:50	塩田公民館ホール
2月18日(木)	地域協議会	13:30	塩田公民館ホール
3月18日(木)	地域協議会	13:30	塩田公民館ホール

6 閉会

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。